

はら のぶ た ろう

原信太郎 の世界

～未来を担う若者たちへのメッセージ～

原鉄道模型展



2014年9月20日(土)～10月18日(土)

桐蔭学園メモリアルアカデミウム ソフォスホール

■開館時間 10:30～17:30 (入館は17:00まで)

※9/27,28は学園祭開催のため、
開館時間が9:30-16:30(入館は16:00まで)となります。

■休館日 日・祝(ただし9/28は開館、10/2は休館) 入場無料

■主催 学校法人桐蔭学園 ■協力 原鉄道模型博物館、シャングリラ・ミュージアム株式会社

お問い合わせ先: 桐蔭学園メモリアルアカデミウム 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 TEL.045-975-2100 <http://toin.ac.jp/ma/>
バスでのご来場をお願い申し上げます。

東急田園都市線 市が尾・青葉台各駅、または小田急線 柿生駅から桐蔭学園行きバスで約15分



MEMORIAL ACADEMIUM

原信太郎の世界

～未来を担う若者たちへのメッセージ～

原鉄道模型展 開催にあたって

学校法人桐蔭学園理事長 平岩敬一



原信太郎の秘宝「FS E626」

みなさんは、一生をかけて好きだと言えるものはありますか？
このたび桐蔭学園では、好きなことを追求し、信念を買った人物、原信太郎の世界に触れる企画展を開催します。

原信太郎は、世界的な鉄道模型製作・収集家として知られています。1919（大正8）年に生まれ、港区三田で少年時代を過ごします。毎日、近所の電車区（操車場、車庫などのある車両基地）や市営電車の車庫へ行き、電車を眺めるのが楽しみでした。このころ信太郎は3歳、すでに鉄道一筋の人生が始まっています。

おもちゃの模型はいくつも買ってはいましたが、やがて本物がほしくなります。さすがに電車は買えないので、小学6年生のとき、鉄道模型を作ることになりました。車体は自分でデザインし、パンタグラフはドイツの模型に倣いながら針金で作りました。この初めての自作模型は80年以上を経た今も、本物の電車と同じように架線集電で走ります。これまで信太郎が企画・設計し、自主製作または特別発注した模型は約1000両にのぼります。

中学から高校にかけて、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語などの外国語を習得しました。海外の鉄道や技術について調べたり、模型を購入したりするのに必要だったからです。また、鉄道技術を本格的に学びたいという気持ちを抑えきれず、必死で受験勉強をして慶應義塾大学の高等部から東京工業大学の機械科に編入しました。本人曰く、「勉強嫌いの研究好き（※）」で好きなものを追及するための努力は惜しみませんでした。

鉄道好きが昂じて身につけた技術や知識は、社会に出てからも大いに役立ちます。大手事務メーカー在職中に、製造ラインや物流機械のオートメーション化を手がけ、取得した技術特許は300を超えます。信太郎は「鉄道からあらゆる知識・技術・人生哲学を吸い取り、自分の肥やしとして育ててきました（※）」と自身の著書で振り返っています。

本展会場では、信太郎の貴重なコレクションを展示、そして実際に鉄道模型（一番ゲージ）を走らせます。精密な機構を携えた車両の美しさはもちろんのこと、心地よく響く本物さながらの走行音にもぜひ耳を傾けてください。また、激動の時代の中で自分を貫き通した信太郎の生涯をパネルでたどります。

「自分のやりたいことに徹し、その念願を貫くために頑張れば、すべての道は通じる（※）」。桐蔭生のみなさんにはこの信太郎の言葉を心に留めておいてほしいと思います。

開催にあたり、原鉄道模型博物館に多大なるご協力を、また同館館長代理針谷朱美氏に格別のご尽力を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

※原 信太郎『スーパー鉄道模型 わが生涯道楽（講談社+α新書）』より



轟音をたてて走る鉄道模型

一番ゲージの大きな模型が走る姿は、それだけで鉄道の魅力にあますことなくお伝えします。

会場展示風景(参考写真)



金剛山電気鉄道の駅のスタンプ

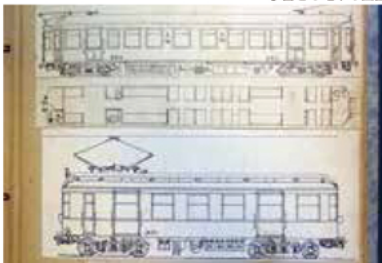


愛読していた鉄道雑誌

写真の技術書



手書きの電車の図面



<各駅からのバスのご案内>

- 東急田園都市線 青葉台駅よりごバス
「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
- 東急田園都市線 市が尾駅よりバス
「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車。または「栢生駅北口」行、「桐蔭学園入口」下車
- 小田急線 栢生駅よりバス
「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車

<タクシーご利用の場合>
東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 栢生駅からが便利です。行き先は「桐蔭学園鉄（くろがね）神社前」とお伝えください。
※駐車場はございませんので、お車でのお来場はご遠慮ください。